

行政視察報告書

令和7年12月8日

会派名 無会派
会派代表者 津田 貴史

行政視察の結果について、次のとおり報告します。

年月日	令和7年11月14日(金)
視察時間	午前10時～午前11時35分
視察先	愛知県犬山市
視察項目	荒廃農地等利活用促進事業について -1) 事業実施の経過・背景 -2) 事業概要と効果 -3) 今後の課題と対応

行政視察報告書

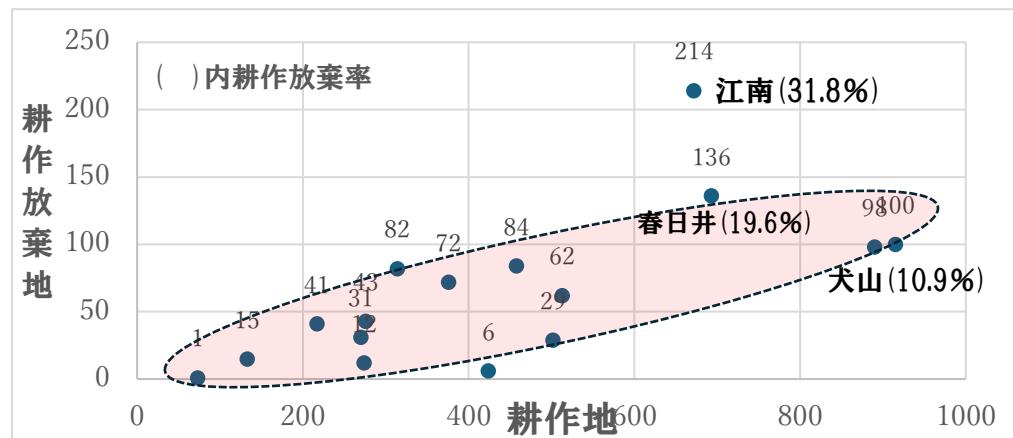
年月日	令和7年11月14日(金)
視察時間	午前10時～午前11時35分
視察先	愛知県 犬山市
視察項目	荒廃農地等利活用促進事業について

■目的
県内では7市町村が荒廃農地の再生等に市町村単独事業として取り組んでおり、耕作放棄地増大に対し奏功している(農林水産省_荒廃農地の発生防止のための施策)。
同じ尾張平野で江南市に近接する犬山市では複数の(5種の)助成金で再生面積を拡大しており、耕作放棄地率県内3位の当市の耕作放棄地対策事業に活かせるよう調査・研究する。

■内容

-1) 事業実施の経過・背景

● 愛知県内の荒廃農地面積(荒廃農地調査 R2)



-2) 事業概要と効果

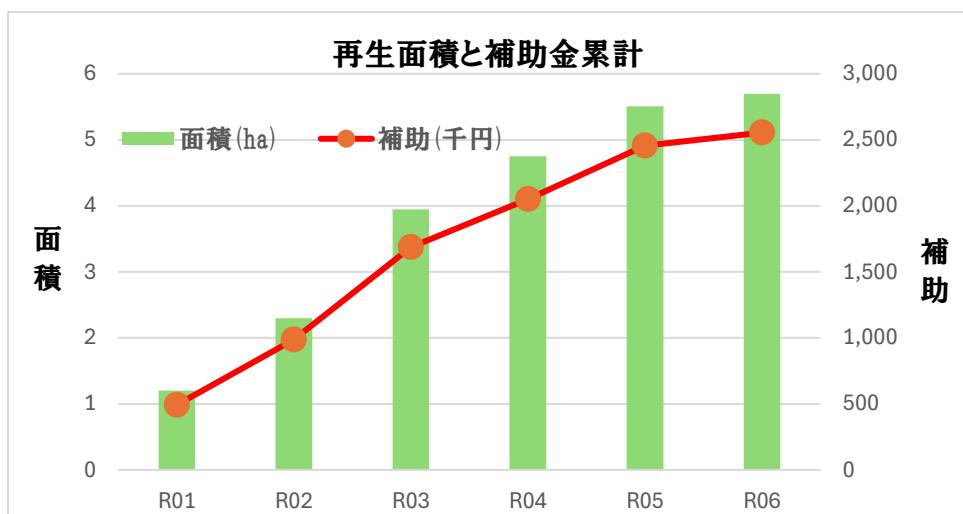
● 荒廃農地の再生費用補助 (R1~)

対象者: 再生活動を行い 3 年以上の耕作継続が確実と見込まれる農業者等

補助額: 10 アールあたり 5 万円 (重機使用の場合 6 万円)

上限: 15 万円 (重機使用の場合 18 万円)

効果: 下図_再生面積と補助金累計



● 新規就農者支援 (R3~)

補助率: 2 分の 1 上限: 30 万円

● 収入保険制度加入支援 (R4~)

補助率: 補助対象経費 (契約時の保険料及び付加保険料) の 2 分の 1 上限: 10 万円

● 有機農業取組支援 (R5~)

対象者: 農業者で組織する団体

補助額: 10 アールあたり 2,000 円 ~ 1 万 4,000 円 (取組内容に応じた交付単価)

取組内容: 有機農業、カバークロップなど

● 農産物ブランディング支援 (R6~)

補助率: 2 分の 1 上限: (ハード整備) 30 万円 (ソフト事業) 10 万円

江南市でも同様の取組を行っているが、以下の3点は犬山市独自の取組である。

- ・荒廃農地の再生費用補助
- ・有機農業取組支援
- ・農産物ブランディング支援

また取組内容でも

- ・一人でも利用できるメニュー（耕運機の貸し出し）が嬉しい
- ・メニュー構成（農業講座）が細かい

-3) 今後の課題と対応

第6次犬山市総合計画の（施策2-1_農業）に沿って実施中

農業者の確保、育成

農業者同士のネットワークを活かして、農業後継者や新規就農者の確保・育成を図ります。また、関係団体等と連携して農福連携等の新しい農業の取組みを促進します。

農業にふれ親しむ機会の確保

農業にふれ親しむ機会として、市民農園や子ども大学農業学部、プランター講座等の充実を図ります。また、講師や講座参加者たちの交流できる関係づくりを推進します。

農地の活用

農地のより効率的な利用を促進するため、農地の集積集約化を推進します。また、耕作放棄地の実態や農業者の意向を把握し、発生防止に努めます。

認定農業者の育成

農業経営の安定化を図るため、農地の集積集約化を図りながら、新しい栽培品種の導入や低コスト農法等の新しい農法導入を促進します。

農産物ブランド化の推進

米、果樹、じねんじょ等の農産物を活用（加工等）し、様々な手法で情報発信等をすることで、農産物のブランド化を推進します。

農産物への被害防止対策

有害鳥獣による被害状況の把握に努め、捕獲活動や柵設置等の被害防止対策を講じます。

地産地消の推進

朝市やマルシェの活性化を図り、地元農産物を購入できる機会を増やします。また、小中学校給食の食材として地元農産物の利用を促進します。

土地改良施設改修

土地改良施設（ため池や用排水路等）の改修を進めます。また、施設の維持管理に対する地元要望を把握し、地域と協議しながら用水施設の機能確保に努めます。

■所感

犬山市と江南市では水田と畠の耕作地比率が異なり、施策の重み付けは異なるが放棄地対策の取組内容や農業者に対する耕作支援メニューが豊富な点は、当市での施政へ取り込む価値の高いものがある。新規就農者は出尽くした感があり再生補助は減少傾向であるが、今後は付加価値の高いブランド農産物耕作支援という新たな観点でのフレキシブルな施策は、見習うべきである。

また定年帰農者等に着眼しその促進支援が必要かも…との当局の思いは、当市の人口構成を勘案すると犬山市より先んじて実施すべき施策であると思う。